

クリスチャン生活と召会生活における神の王国の発展

(主日——午前の第二の部)

メッセージ 8

王国の福音を宣べ伝え、すべての諸国民を弟子とし、
神の王国を拡大し、発展させる

聖書：マタイ 24:14. 28:18-20. マルコ 1:14-15. I テサロニケ 2:12

I. 「この王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられる」——マタイ 24:14 :

- A. 神の王国は神聖な範囲であり、神が彼のご計画を成し遂げるためです。それは、神が彼の権威を行使して、彼が意図することを達成することができる領域です——マルコ 1:15. ヨハネ 3:3, 5. マタイ 12:28. 啓 11:15。
- B. 宇宙における根本的な問題は、神の権威に対する反逆です——イザヤ 14:12-14 :
 - 1. サタンは、神の主権を侵し、神の権威を強奪し、神の御座を覆し、自分自身の王国を設立しようとしています——マタイ 12:26. エペソ 2:2。
 - 2. 人は墮落したとき、神に反逆し、神の権威をわきに置き、神の権威を否み、神の支配を拒絶しました——創 3:6, 11. ローマ 5:12. I ヨハネ 3:4。
- C. 王国の福音を通して、神は人々を、天的権威の支配の下にもたらしめます。それは、彼らが彼の王国になるため、すなわち、彼の権威によって支配されている人たちになるためです——マタイ 24:14. 啓 1:5-6 :
 - 1. 新約は王国の方法で福音を宣べ伝えています。神の王国は真の福音であるので、福音を認識することは、わたしたちが王国を認識することを必要とします——マルコ 1:14-15. 使徒 8:12。
 - 2. 福音は王国のためです。福音が告げ知らされるのは、反逆的な罪人が救われ、資格づけられ、装備されて、神の王国に入るためです——マルコ 1:14-15. マタイ 4:17. 使徒 8:12 :
 - a. 命の福音、恵みの福音、救いの福音はすべて、王国のためです。王国が中心であり、車軸です——ヨハネ 3:16. 使徒 20:24. 4:12。
 - b. 王国の福音は、人々を神の救いの中へともたらすだけでなく、また王国へともたらしめます。王国の福音の強調点は、神の天的支配と主の権威にあります——マタイ 24:14。
 - c. 王国の福音は、信者たちを神聖な支配の領域の中へともたらしめます。それによって彼らは神聖な王国の中で、神聖な命の祝福にあずかることができます——I テサロニケ 2:12。
- D. 神は、すべての人が王国のために悔い改めることを命じています——マタイ 3:2. 4:17. 使徒 17:30 :
 - 1. 悔い改めることが意味するのは、わたしたちがもともと反逆的で、神に逆らっていたが、今は主に戻って服従するということです——マタイ 3:2. 4:17。
 - 2. 悔い改めることは、思いを変えて、後悔に至り、目的を転換させることです——ル

カ 3:3, 8. 5:32. 17:3. 使徒 17:30-31。

3. 悔い改めることはおもに、わたしたちが神の王国に入ることです。わたしたちは悔い改めないなら、すなわち、観念を変えないなら、王国に入ることではできません——マルコ 1:15. マタイ 3:2. 4:17。

E. 王国の福音は、すべての民に対する証しのために、人の住む全地に宣べ伝えられ、それからこの時代の終わりが来ます—— 24:14 :

1. この宣べ伝えは、啓示録第 6 章 1 節から 2 節の第一の封印の白い馬によって表徴されており、この時代の満了のしるしとなります。

2. 王国の福音は、主の回復の中の諸召会を通して、人の住む全地にもたらされなければなりません——マタイ 24:14. I テサロニケ 1:8。

II. 「だから、行って、すべての諸国民を弟子とし、父と子と聖霊の名の中へと彼らをバプテスマして」——マタイ 28:19 :

A. 主は彼の神性において、神のひとり子として、すべてに対する権威を持っていました。しかしながら、主の復活の後に、彼の人性において、天においても地においても、権威が人の子としての、また天の王国の王としての彼に与えられました—— 1-10, 18 節。

B. いっさいの権威は復活したキリストに与えられたので、彼はすべての諸国民を弟子とするために彼の弟子たちを遣わしました。彼らは、彼の権威をもって出て行きます—— 18-19 節 :

1. わたしたちが主によって遣わされているのは、人々を救いにもたらすためだけでなく、また諸国民を弟子とするためでもあります。これは王国の事柄です。

2. 諸国民を弟子とすることは、異教の者を王国の民とならせて、地上に、今日でさえ、彼の王国、すなわち、召会を設立することです—— I テサロニケ 1:9. 2:12. 啓 1:5-6, 9. 5:9-10。

3. わたしたちが福音を宣べ伝える内在的な目的は、諸国民を三一の神の中へともたらして、彼らを天の王国の国民にすることです——マタイ 24:14. 28:18-19。

C. キリストは最後のアダムとして、彼の地上での務めを完成し、十字架の過程を経過し、復活の領域の中へと入って、命を与える霊と成った後、彼の復活の雰囲気と実際の中で彼の弟子たちに戻って来て、神聖な三一の御名、すなわち、彼のパーソン、彼の実際の中へと異教の者をバプテスマすることによって、彼らを王国の民とするように弟子たちに命じました—— 19 節 :

1. マタイ第 28 章 19 節の「の中へと」は結合を示しています。人々を三一の神の御名の中へとバプテスマすることは、三一の神との霊的で奥義的な結合の中へと彼らをもたらすことです。

2. 神聖な三一のための一つの御名があります—— 19 節 :

a. この御名は、神聖な存在の総合計であり、彼のパーソンと等しいです。

b. 三一の神の御名の中へと人をバプテスマすることは、三一の神であるすべての中へとその人を浸すことです。

D. マタイによる福音書によれば、父、子、霊の実際の中へとバプテスマされることは、天の王国を構成するためです—— 19 節 :

1. 天の王国は、地上の社会とは異なり、血肉の人をもって形成することはできません—— I コリント 15:50。
 2. 神の天的王国が構成されることができるのは、三一の神との結合の中へと浸し込まれ、そして自分たちの中へと造り込まれた三一の神をもって確立され、建造された人々をもってのみです——ローマ 6:3-4. 14:17. ガラテヤ 3:26-27. 4:19. 5:21. エペソ 3:14-19. 5:5。
- E. 主はマタイ第 28 章 20 節において、バプテスマされたばかりの人たちに教えて、主がわたしたちに命じておいたことを、すべて守らせるように、わたしたちに命じました。これは、すべての諸国民を弟子とするためです—— 19 節。
- F. 「見よ、わたしはこの時代の満了まで、日々あなたがたと共にいる」—— 20 節：
1. 天の王は、インマヌエル（神われらと共にいます）です—— 1:23。
 2. 彼がわたしたちに約束したのは、彼が彼の復活の中で、いっさいの権威をもって、この時代の終わりまで、日々わたしたちと共にいるということでした—— 28:20。
 3. わたしたちが彼の御名の中へと集められるときはいつでも、彼はその中におられます—— 18:20。
- G. 主は彼の復活の中で共におられるので、わたしたちは彼の権威、委託、地位を持って、諸国民を弟子とし、神の王国を拡大し、発展させます—— 6:10, 33. 13:18-23. 28:18-20。